

科目名		33. 医療的ケア II	
担当講師	深澤みはる 高草木めぐ美	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	1 年生 後期
評価基準	筆記試験		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療職と連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する</li> <li>・介護の場における医療的ケアの必要性を理解する</li> </ul>		
回	講義内容	方法	
1	医療的ケアとは (喀痰吸引等制度・その他の制度)	講義	
2	安全な療養生活 (喀たん吸引や経管栄養の安全な実施)	講義	
3	清潔保持と感染予防① 感染予防・職員の感染予防	講義	
4	清潔保持と感染予防② 感染予防 (手洗い・清潔操作)	講義	
5	清潔保持と感染予防③ 療養環境の清潔、消毒法・消毒と滅菌	講義	
6	健康状態の把握 (バイタルサイン・急変状態について)	講義	
7	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論① 呼吸器のしくみと働き・いつもと違う呼吸状態	講義	
8	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論② 喀痰吸引とは	講義	
9	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論③ 人口呼吸器のしくみ	講義	
10	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論④ 人工呼吸療法の場合の吸引・子どもの吸引について	講義	
11	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論⑤ 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	講義	
12	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論⑥ 呼吸器系の感染と予防 (吸引と関連して)	講義	
13	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論⑦ 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認	講義	
14	高齢者および障害児・者喀痰吸引概論⑧ 急変・事故発生時の対応と事前対策	講義	
15	中間テスト	試験	

16	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順①</u> 喀痰吸引で用いる器具・機材とそのしくみ、清潔保持	講義
17	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順②</u> 口腔内吸引・鼻腔内吸引の技術と留意点1	講義・演習
18	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順③</u> 口腔内吸引・鼻腔内吸引の技術と留意点2	講義・演習
19	<u>口腔内吸引の手順・手技</u>	演習
20	<u>鼻腔内吸引の手順・手技</u>	演習
21	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順④</u> <u>気管カニューレ内吸引の技術と留意点1</u>	講義
22	<u>高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順⑤</u> <u>気管カニューレ内吸引の技術と留意点2</u>	講義
23	<u>気管カニューレ内部吸引の手順・手技</u>	演習
24	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論①</u> <u>消化器系のしくみとはらき</u>	講義
25	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論②</u> <u>消化・吸収とよくある消化器の症状</u>	講義
26	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論③</u> <u>経管栄養法とは・注入する栄養剤に関する知識・経管栄養実施上の留意点</u>	講義
27	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論④</u> <u>子どもの経管栄養について・経管栄養に係る感染と予防</u>	講義
28	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑤</u> <u>経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意</u>	講義
29	<u>高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑥</u> <u>経管栄養により生じる危険</u> <u>注入後の安全確認、急変・事故発生時の対策と事前対策</u>	講義
30	<u>テスト</u>	試験
テキスト・参考書		最新 介護福祉士養成講座 15 医療的ケア 配布資料